

内野 嘉広

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p><b>1 健康寿命の延伸に向けた取り組みについて (30分)</b></p> <p>平均寿命とともに健康寿命という定義があります。平均寿命は、人が死ぬまでの年齢の平均値ですが、健康寿命は日常生活において介護を必要とせず、心身ともに自立し、健康的な生活をおくることが出来る年齢の平均値です。</p> <p>平成22年度厚生労働省のデータによりますと、男性の平均寿命79.55歳、女性の平均寿命86.3歳に対して、男性の健康寿命が70.42歳、女性の健康寿命が72.68歳、と男女ともに約10年の差が出ております。これは、人生の約10年間を要介護状態にあるなど不健康な期間として生活しているということです。</p> <p>こうしたことになる原因として、特に生活習慣病や身体活動の減少、運動不足が指摘されております。内臓脂肪の蓄積を原因とするメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）は、一般的にも認知され、メタボ解消に向けた様々な対策が講じられているところでありますが、高齢者の骨や関節、筋肉などの衰えによる運動機能の低下が原因で歩行が困難になるなど自立度が低下し、介護が必要となるなどのロコモティブシンドローム（運動器症候群）については、その認知度は低く、一般的にその危険性や対策への関心が希薄であるのが現状です。メタボリックシンドロームの認知度が90%を超えているのに対して、ロコモティブシンドロームの認知度は17%と低い水準にあります。メタボと並んでロコモ。このロコモ予防の認知度を高め、その対策を講じていくことは、健康づくり、介護予防を進めていくうえで、極めて重要であると思います。</p> <p>本市も今年度、高齢化率が20%を超え、平成26年には23%に達することが予測され、要介護（要支援）認定者数も今後、さらに増加していくと予測されます。急速に高齢化が進む中で、元気で健康な高齢者で生活していくこと、要介護状態の予防、虚弱化を先送りしていくことが大切であります。また、介護、医療費等社会保険費が増加の一途をたどる中で、予防としての健康増進を図ることは、介護保険利用者の減少も期待でき、市のみならず国の財政の軽減にもつながります。</p> <p>平成25年度から国の「健康日本21（第2次）」がスタートし、健康寿命の延伸、生活習慣病の発症予防、社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上、健康を支える社会環境の整備、食生活、身体活動、運動などに関する生活習慣及び社会環境の改善など、5</p>	市長

つの基本的な取り組みの方向性が出されております。こうしたことを見まえて、市の健康づくりの取り組み、介護予防に向けた取り組みについて質問いたします。

- (1) 健康寿命が、平均寿命と比べ、その差である「不健康な期間」がデータ的に男女ともに約10年の差が出ている現状を見まして、市の認識と今後の対策について
- (2) ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度を高めることの必要性と今後の対策について
- (3) 元気な高齢者づくりに向けた社会参加の機会、環境の整備について
- (4) 健康づくりについては、子どもの頃からの運動、スポーツの習慣化が重要であることから、市の取り組みについて
- (5) 国の「健康日本21」を踏まえた、今後の市の健康づくり、介護予防に向けた取り組みについて

## 2 つるバス・つるワゴンの運行について (15分)

つるバス・つるワゴンの運行については、平成8年に市内循環バス「ふれあい号」として運行開始し、運行ルートの見直しや乗合タクシーの実証運行など利便性の向上に向けた見直しをしながら、平成23年度からつるバス・つるワゴンの運行となりました。

運行の見直しに際しては、乗降者、施設利用者に対するアンケート調査や地域公共交通活性化協議会による検討、また、見直し計画案に対するパブリックコメントなどを実施し、その都度、より利便性の向上を目指した見直しが行われてきたものと考えております。それらを見まして、今後の運行について質問いたします。

- (1) 現在の利用状況について
- (2) 運行見直しに際しての、市民意見の反映について
- (3) 高齢者、障害者に対する利便性の向上に向けた運行について

## 3 次世代エネルギーを活用したまちづくりについて

(15分)

養命酒製造㈱によるメガソーラー事業については、本年7月の運転開始に向けて、現在その整備が進められております。

市長

市長

内野 嘉広

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故により、安全神話が崩れ、原発に依存してきたエネルギー政策の大きな転換期を迎えており中で、こうした次世代エネルギーを活用した取り組みが当市でも行われることは、自然との共生、エコライフなど市のイメージ的な観点から、喜ばしいことであると考えます。</p> <p>市街地に大規模なメガソーラー施設を設置し、環境に優しい次世代エネルギー事業を進めていくに当たり、当市も共同、連携して取り組んでいくことになると思われます。</p> <p>市民の注目度も大きい事業でありますので、民間企業と連携した民間活力導入によるまちづくり、次世代エネルギーを活用したまちづくりの観点から質問いたします。</p> <p>(1) 養命酒製造㈱によるメガソーラー事業の内容について (2) まちづくり、地域活性化の観点から、市としてメガソーラー事業をどのような政策として活用していくのか。</p>	